

## 安全データシート(SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名: ワクスル おう吐物凝固剤

会社名: 和光産業株式会社

住所: 〒210-0852 神奈川県川崎市川崎区鋼管通1-3-17

担当部門: 営業企画部、電話番号: 044-333-7283 FAX: 044-333-7257 緊急連絡先: 中西 090-2560-6089

製品説明: おう吐物・汚物の凝固剤、整理番号 : 001

### 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

人の健康に対する有害な影響: 吸入または飲み込んだ場合、有害である。眼、皮膚、粘膜等に触れると刺激性あり、長期間放置すると皮膚が荒れる場合がある。また、長期間粉塵を吸入し続けると呼吸器障害が起こる恐れがある。

環境影響: 大量に流失した場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

物理的及び化学的危険性(ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムとして): 消防法危険物に該当しないが、いずれも火気、熱、酸、アルカリ、有機溶剤、還元性物質その他の可燃性物質等と直接接触させると分解し、火災または爆発を起こすことがある。また、高度さらし粉(次亜塩素酸カルシウム)あるいはアンモニア及びその塩類と混合すると有害かつ爆発性のガスを発生する。

分類の名称(分類基準は日本方式): 分類基準に該当しない。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名	含有量(%)	官報公示整理番号	CAS 番号
ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム	3%	5-1043	2893-78-9

その他の成分: 吸液性ポリマー、高吸水性樹脂、米ぬか、おが屑、さとうきび抽出物(ポロフェノール)、植物精油

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所に移動し、鼻をかんで、よくうがいをする。何らかの異常を感じたときは、ただちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに水で洗い流した後、石鹸を用いてよく洗う。異常を感じたときは、ただちに医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。何らかの異常を感じたときは、ただちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。

その他 : 使用中、目に異常を感じたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする。その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または製品の安全データシートを持参する。

### 5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。

消火方法 : 多量の水で風上から消火作業を行う。

消火を行う者の保護 : 煙を吸い込まないように適切な保護具(保護メガネ、ゴム手袋、保護マスク等)を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 漏出時の処理を行う際には、保護具(8項)を着用する。

環境に対する注意事項: 公共用水域、水田等へ流出しないように十分に注意する。

除去方法 : ほうきなどを用いてできる限り空容器などに回収する。回収しきれないものは、多量の水で溶解する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い ・取扱い時は必ず、保護具(保護メガネ、ゴム手袋、保護マスク等)を着用する。

・使用時は換気をよくする。

・パウチ、あるいはボトルを開けるときの、凝固剤が目や皮膚に付かないようにする。

・誤食等事故の恐れがあるので、食品用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしたりしない。

・飛散した粉を吸い込んだりしないように、また目に入らないように注意する。

・空になったパウチ、あるいはボトルは、水で十分に洗ってから適正に処理する。

・取扱い後は、手、顔他を良く洗い、うがいをする。

・作業中は、飲食・喫煙をしない。

・長期にわたる皮膚への接触又は繰り返し接触を避ける。

保管 ・直射日光及び高温多湿を避け、冷暗所で容器を密閉して保管する。

・防湿性の密閉できる容器を使用する。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策: 密閉された室内で使用するときは、局所換気装置を設置する。

管理濃度: 設定されていない。 許容濃度: 設定されていない。

手の保護: 保護手袋、 目の護具: 保護眼鏡、 呼吸器の保護具: 保護マスク。

皮膚及び身体の保護具: 保護衣、ゴム長靴。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状: 薄茶(クラフト)色粉体、臭い: 植物精油臭と僅かな塩素臭、pH: 6~9、溶媒に対する溶解性: 一部水に溶解する。

引火点: データなし、安定性: 通常の状態安定。

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の保管では安定であるが、水との接触で次亜塩素酸を発生する。

危険有害反応可能性

避けるべき条件 : 高温多湿、日光、及び鉄などの酸性腐食容器を使用しない。他物質との混合と接触。

混合危険物質 : 高度さらし粉(次亜塩素酸カルシウム)あるいはアンモニア及びその塩類と混合すると有害かつ爆発性のガスを発生する。(ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムとして)

接触危険物質 : 火気、熱、酸、アルカリ、有機溶剤、還元性物質その他の可燃性物質等と直接接触させると分解し、火災または爆発を起こすことがある。(ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムとして)

---

## 11. 有害性情報

急性毒性 : ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムとして

経口毒性：ラットLD50 値 735mg/kg IUCLID(2000),HSDB(2003)に基づき区分4とした。

経皮毒性：ラット LD50 値>5000mg/kg ウサギLD50 値>2000mg/kg IUCLID(2000)に基づき区分外とした。

吸入：ラットLD50 値>12.5mg/kg IUCLID(2000)に基づき JIS 分類基準の区分外とした。

感作性：呼吸器感作性 データなし、皮膚感作性 データなし。

生殖細胞変異原性：エームス試験で陰性結果がある。(NTP DB(Access on Sep,2009))

発がん性：データなし。

局所効果

皮膚に触れた場合：高濃度では、皮膚組織に損傷(痛み・湿疹・水泡)を与える。

目に入った場合：粘膜を刺激し、高濃度では激痛や結膜炎を起こすことがある。

吸入した場合：強烈な刺激があり、高濃度では粘膜や気管組織損傷を与え、呼吸困難が起こる場合がある。

---

## 12. 環境影響情報

分解性：データなし、 生体蓄積性：データなし、 オゾン層への有害性：データなし。

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄の際は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装：水洗いした後、適切に廃棄する。

---

## 【14. 輸送上の注意】

輸送の特定の安全対策及び条件：堅牢で容易に変形、破損しない容器に入れ、輸送する。運搬に関しては容器から漏れないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。法規に従って、包装、表示、輸送を行う。

国際規制：該当なし、国連分類：該当なし、国連番号：該当なし。

---

## 15. 適用法令

消防法：危険物に該当しない。

毒物及び劇物取締法：該当しない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：該当しない。

高圧ガス保安法：該当しない。

労働安全衛生法：該当しない。

---

## 16. その他の情報

労働安全衛生法MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社

化学物質管理促進法(PRTR・SDS)対象物質全データ 化学工業日報社

毒物及び劇物取締法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社

GHS対応ガイドライン (社)日本化学工業会

危険物データ 「危険物データブック」(東京消防庁警防研究会監修)

ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムに関して 南海化学(株)231-5 第3版 ハイスターGのSDS

記載内容に関する注意

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、保証値ではありません。また、記載された注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものです。

---